

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2022年度末	2023年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	8,567,520	9,848,896
基金等	1,149,273	1,092,366
価格変動準備金	1,072,330	1,087,908
危険準備金	598,880	741,725
一般貸倒引当金	2,181	2,173
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	2,885,610	4,127,053
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	523,443	527,756
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	1,349,528	1,290,536
負債性資本調達手段等	912,335	912,335
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	73,935	67,040
リスクの合計額	1,746,907	1,984,496
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 R1	126,888	126,626
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	78,104	78,387
予定利率リスク相当額 R2	116,248	127,459
最低保証リスク相当額 R7	6,204	5,700
資産運用リスク相当額 R3	1,574,085	1,797,764
経営管理リスク相当額 R4	38,030	42,718
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	980.8%	992.5%

(注) 1. 2022年度末については、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。2023年度第3四半期会計期間末については、これらの規定に準じて当社が合理的と判断する方法で算出しています。

2. 「最低保証リスク相当額」は、平成8年大蔵省告示第50号第2条第4項に規定する標準的方式に基づいて算出しています。